

令和8年3月19日

報道機関 各位

GEIBUN ARCHITECTURE 展  
人と古材の結び目にー「氷見古材 KNOTWORK」の実践  
を開催します

富山大学芸術文化学部 藪谷祐介研究室は、考えるパン KOPPE、東工業株式会社、東京科学大学・東京都立大学能作文徳研究室とともに「氷見古材 KNOTWORK」を立ち上げ、能登半島地震により解体を余儀なくされた伝統的家屋から床板や建具、構造材などの古材を救出し、保管・販売を通じて次の使い手へとつなぐ活動を行っています。

この度、そうして受け継がれた古材を活用し、異なる作家たちが制作したツール、照明、椅子、楽器を展示し、「氷見古材 KNOTWORK」の活動を広く知って頂く展覧会を開催します。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

## 記

- 日時 2026年3月21日（土）～5月31日（日）10:00～20:00
- 場所 Meets Geibun  
（富山県小矢部市西中野 972-1 三井アウトレットパーク 北陸小矢部 2F）
- 申込 事前申込不要、参加費無料

※詳細は添付のチラシをご確認ください

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 学術研究部 芸術文化学系 講師 藪谷祐介  
TEL : 0766-25-9200 Email : yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

Meets GEIBUN 第40回企画展

# GEIBUN vol.5 ARCHITECTURE 展

人と古材の結び目にー「氷見古材 KNOTWORK」の実践

「Meets GEIBUN」第40回企画展は、  
「GEIBUN ARCHITECTURE 展 vol.5 | 人と古材の結び目にー『氷見古材 KNOTWORK』の実践」。

富山大学芸術文化学部 藪谷祐介研究室は、考えるパン  
KOPPE、東工業株式会社、東京科学大学・東京都立大学能作  
文徳研究室とともに「氷見古材 KNOTWORK」を立ち上げ、  
能登半島地震により解体を余儀なくされた伝統的家屋から床  
板や建具、構造材などの古材を救出し、保管・販売を通じて  
次の使い手へとつなぐ活動を行っています。

本展では、そうして受け継がれた古材を活用し、異なる作家  
たちが制作したスツール、照明、椅子、楽器を展示します。  
そこには、素材としての魅力だけでなく、地域の記憶や人々  
の暮らしの時間も刻まれています。

古材を受け継ぎ、使い継ぐことは、人と人、土地と未来を結  
びなおす試みでもあります。

古材がひらく新たな可能性を、ご覧ください。

富山大学芸術文化学部 藪谷祐介研究室

**氷見古材 KNOTWORK** × **GEIBUN**

氷見古材 KNOTWORK × 富山大学 芸術文化学部

土地と未来を結びなおす。

GEIBUN ARCHITECTURE

## 3/21-5/31

観覧無料

会場 Meets GEIBUN | 三井アウトレットパーク北陸小矢部 2F |



GEIBUN

Meets  
GEIBUN



Meets GEIBUN 第40回企画展

# GEIBUN vol.5 ARCHITECTURE 展

人と古材の結び目にー「氷見古材 KNOTWORK」の実践

## 3/21-5/31

観覧無料

土地と未来を結びなおす。

GEIBUN ARCHITECTURE



氷見古材 KNOTWORK × GEIBUN



Meets  
GEIBUN

# 氷見古材 KNOT WORK



展覧会 会場バナー